種目（外国語）

発行者名 採択基準	東京書籍（NEW HORIZON English Course）
1　教科の目標からの配慮	・文法や語彙などの理解を促し、活用する技能を身に付けるような言語活動の配慮がされている。 ・各単元で場面設定がされており、目的・場面・状況などに応じて様々な話題について伝え合う言語活動の配慮がされている。 ・外国語の背景にある文化の理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする態度が育成されるよう構成されている。
2　生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 （本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等）	(1) 小学校での学びを振り返る単元や、各学年の接続をするための単元が設定されており、進級時の学習を円滑に始められるよう配慮されている。 (2) 日常的な話題や社会的な話題について、生徒が自分の考えや気持ちを話したり書いたりして表現する言語活動に取り組めるよう構成されている。 (3) 英語を使ってクラスの友と自分の考えや気持ちを伝え合い、課題解決するような言語活動が設定されていることから、対話的な学習を促すよう構成されている。 (4) 話されたり書かれたりした意図や背景を想像してから、考えたことを発表したり、書いたりする言語活動が設定されていることから、生徒の気付きを促すよう構成されている。 (5) 単元の題材や物語の理解を促す挿絵が掲載されていたり、学年に応じて書体の工夫がされていたりするなど配慮されている。
3　学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い （「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価）	(1) １学年の教科書では「聞くこと」や「話すこと」が中心となって扱われており、学年が上がるにつれ、段階的に各領域の言語活動が扱われるよう構成されている。 (2) 単元終末に設定されている「英文を読んでから書く」などの領域統合的な言語活動に向けて、各単元が段階的に指導できるよう配列されている。 (3) 視覚的に配慮された新出表現の導入では、使用する目的、場面、状況に生徒が気付きながら、自分の考えや気持ちを発信する言語活動が構成されている。 (4) 「聞くこと」「読むこと」「書くこと」「話すこと」に特化したページでは、日常的な話題について言語活動をしながら英語を身に付ける指導をするよう構成されている。 (5) 図表やグラフなどの視覚的補助になるものを使って聞くことや読むことの力を育むよう配慮がされている。 (6) 巻末の学習到達目標で各領域について生徒の自己評価を促し、できるようになったことが確認できるよう工夫されている。
4　全体的な特色	・単元構成が系統的に積み上げられており、英語を使う目的、場面、状況などへの気付きを促すよう工夫されている。 ・物語や説明文など様々な英文とそれに伴う読み取りの観点が設定されており、概要や要点の把握について配慮されている。

種目（外国語）

発行者名 採択基準	開隆堂（SUNSHINE ENGLISH COURSE）
1　教科の目標からの配慮	・新出表現の理解や技能を身に付けることを促すように言語活動が配置され、技能を活用しやすい構成になっている。 ・単元で扱われている題材内容について思考し、情報を整理して自分の考えや気持ちを発信する活動が設定されている。 ・主体的にコミュニケーションを図る態度の育成に向けて、文化を学び、相手を意識して発信する言語活動が工夫されている。
2　生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 （本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等）	(1)　１学年から３学年へ日常的な話題から社会的な話題まで扱うように構成されていたり、単元の配置が小学校での学びを接続することができるよう工夫されている。 (2) 新出表現の導入場面では、友だちとの英語によるやり取りが設定されており、やり取りを通して新出表現を身に付けていくよう工夫されている。 (3) 新出表現を漫画で示すなどの言語の働きや使用場面を視覚的に理解するように促すよう配慮されている。また、音読について意識を高めるよう工夫されている。 (4) 学んできた表現やできるようになったことを使って自己表現を高める言語活動ができるよう工夫されていたり、本文の内容を要約して相手に伝えたりする活動が工夫されたりしている。 (5) 配色についての配慮や大きな挿絵、学年に応じて書体の工夫をするなど配慮されている。
3　学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い （「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価）	(1) 総合的に各領域の指導をすることができるよう配慮されており、「話すこと」「書くこと」においては即興的に話す力を、単元の終末では発信する力を育成するよう工夫されている。 (2) 聞いたり話したり書いたりする活動で表現の定着を促し、話すこと[やり取り]の言語活動では、使う会話の継続の仕方などについて指導するよう段階的に構成されている。 (3) 特設単元では、モデル文の提示やメモなどを活用したり、友だちとやり取りしたりすることを通して、育成してきた力を活用して発表をする言語活動が配置されるよう工夫されている。 (4) 新出表現が漫画で提示され、言語の働きや使用場面の理解を促すよう配慮されている。また単元の題材について、英語で即興的にやり取りする活動が配置されるよう工夫されている。 (5) 写真などの視覚的な支援によって、扱われている言語材料や単元で扱われている題材の理解を支援するよう工夫されている。 (6) 巻末の「できるようになったこと」リストから、学習到達目標について確認を促せるよう工夫がされている。
4　全体的な特色	・新出表現は小学校と同様に漫画で場面が提示され、単元で学習する内容も具体的に示されている。 ・即興的に英語を用いて自分の考えや気持ちを発信する活動が盛り込まれている。

種目（外国語）

発行者名 採択基準	三省堂（NEW CROWN ENGLISH SERIES）
1　教科の目標からの配慮	・各単元が「見通し」「習得」「活用」「振り返り」の構成になっており、５領域の知識と技能の基礎を養える構成となっている。 ・目的・場面・状況を明確にした対話文が設定され、繰り返し言語活動をすることを通して思考、判断、表現を促すよう配慮されている。 ・日本や他国の文化的な背景を考慮しながらコミュニケーションを図ろうとする態度が養われるよう配慮されている。
2　生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 （本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等）	(1) １学年では、小学校の振り返りが扱われている。また、どの学年においても、生徒の発達段階に応じて段階的に英文・語彙の量が増えていくよう工夫されている。 (2) 各単元の導入で言語材料を理解し、定着を図る活動や題材に関わって自分の考えや気持ちを伝え合う言語活動が配列されるなど工夫されている。 (3) 生徒の興味や関心、発達段階に応じて、異文化理解、自然理解・社会理解、平和、日本の伝統文化などの題材が多岐にわたって配置されている。 (4) 特設単元では、既習事項を用いて自分の考えや気持ちを相手に伝える表現活動が設定されており、５領域を関連付けて学習できるよう構成されている。 (5) フォントについての工夫や、表現を比較して対照することができるような配色について工夫されている。
3　学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い （「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価）	(1) 見通し→習得→活用→振り返りという流れで単元が構成されており、複数の単元を学んだ後設定されている特設単元により、既習事項を用いて表現力を高められるよう考慮されている。 (2) 各単元の序盤で基礎的な知識や技能の習得を促し、言語活動で語いやリスニング力、対話力を身に付け、特設単元で発信するよう構成されている。 (3) 「話すこと[やり取り]」を扱う言語活動では、やり取りのモデルを参考に即興で会話を行ったり、話し合いをしたりするよう工夫されている。 (4) 相手とのやり取りの際、その目的・場面・状況を明確にした対話文が配置されており、即興で伝え合う力が付くよう配慮されている。 (5) ５領域のどの領域が扱われているのかが明確になるよう工夫され、言語材料が明確にポイントとしてまとめられている。 (6) 単元終末の部分や巻末の特集等を通して、生徒にとっての、学習到達目標到達が提示されている。
4　全体的な特色	・進級時に前の学年との接続を図る内容が、教科書の最初の部分に配列されるよう配慮されている。 ・生活に即した知識・技能の習得を目指し、看板等から必要な情報を読み取る題材が配置されている。

種目（外国語）

	教育出版（ONE WORLD English Course）
1　教科の目標からの配慮	・習得した４技能５領域の知識や技能を実際のコミュニケーションに活用できるよう、実践的な言語活動が配列されている。 ・日常的・社会的な話題について、読んだり聞いたりしたことを理解したり、伝え合ったりするような言語活動が工夫されている。 ・社会的な題材を言語活動と関連させて提示し、相手意識をもちながら、主体的にコミュニケーションを図れるよう配慮されている。
2　生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 （本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等）	(1) 円滑な小・中接続を意識した単元が配置される等、発達段階に応じた題材が配列され、段階的に学習が積み上げられるよう配慮されている。 (2) 「話すこと」の力を高める言語活動では、様々な対話場面における質問側と応答側の双方向の対話例を元に、互いの考えや気持ちを伝え合う活動ができるよう工夫されている。 (3) 読み取りの観点から本文の場面設定の中で興味をもち、思考を働かせながら表現につながるよう配慮されている。また、音読について意欲を高めるよう工夫されている。 (4) 特設単元等では、聞いたり読んだりした情報について、既習事項を活用しながら書いてまとめたり、相手に伝えたりする領域統合的な活動となるよう工夫されている。 (5) 話し手ごとの吹き出しの色分けや、活動や状況別の字体・書体の使い分けがあり、見やすく読みやすいよう配慮されている。
3　学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い （「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価）	(1) 基本的な知識・技能の育成を目指す段階から相手を意識したコミュニケーションの段階まで、４技能５領域の活動が総合的に配置され、段階的にそれぞれの力を養えるよう構成されている。 (2) 単元のまとめの言語活動に向け、言語材料について理解する項目や、話したり聞いたりして定着を図る言語活動が段階的に配列されている。 (3) 特設単元では、モデル英文を聞いたり読んだりして参考にしたり、様々な情報を整理したりしながら、伝えたいことが表現されるよう工夫されている。 (4) 本文がモデルとなり言語の使用場面や働きが具体的に提示されたり、対話の活性化を促す参考表現等が位置付けられたりし、言語活動の参考となるよう構成されている。 (5) 本文の内容に関連付けられた挿絵や写真が挿入され、学習者の理解の補助となるよう配慮されている。 (6) 巻末の学習到達目標に関するリストでは５領域ごとの到達目標が設定され自己評価を促すよう工夫されている。
4　全体的な特色	・前年度の復習となる導入単元や領域ごとの到達目標が設定され、段階的に知識・技能を身に付けるよう配慮されている。 ・対話活動を促す活動や４技能５領域の技能を高める項目が配置されるなどの配慮がされている。

種目（外国語）

発行者名 採択基準	光村図書（Here　We　Go！）
1　教科の目標からの配慮	・各単元の導入時、目標が明示され、言語活動により新出表現を習得し、活用を通して技能の定着が図れるよう構成されている。 ・コミュニケーションの目的や場面が示され、思考・判断したことを表現する言語活動が工夫されている。 ・外国語の背景にある文化理解を図るため、多様な題材に触れ意見交流する教材が選定されている。
2　生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 （本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等）	(1) 小学校での学びを接続する単元が配置され、自分のことから身の回りのこと、社会や世界のことへと視野を広げながら学習に取り組めるよう工夫されている。 (2) 各単元で「聞くこと」「話すこと[やり取り]［発表］」「読むこと」「書くこと」の総合的な育成が図られるようになっており、言語活動を通して学習内容の定着を目指すよう工夫されている。 (3) 単元冒頭では、さし絵、写真が使われており、生徒の興味・関心を引き出したり、音読について意識を高めたりするよう工夫されている。 (4) 読むことを扱っているページでは、読み取りの観点が明示されて理解を促したり、各単元の挿絵を基に、本文の内容を要約して相手に伝えたりするよう活動が工夫されている。 (5) 語彙や文法事項などの言語材料について識別しやすい配色や形の配慮や、学年に応じた書体が配慮されている。
3　学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い （「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価）	(1) 単元冒頭のページでは、重点的に取り組む領域と目標が示され、単元終末に、学習した語彙や文法事項を活用するよう構成されている。 (2) 主に「聞くこと」を通して新出表現に触れ、様々な言語活動を通して学習した表現を活用しながら身に付けていくよう工夫されている。 (3) 特設単元では、複数の単元で学習した内容を活用し、英文を読んだり聞いたりした後に、その内容を踏まえて、自分の考えや気持ちを伝え合う言語活動が設定されている。 (4) 場面別の表現を扱うページでは、例示された会話のやり取りから新出表現の使用場面を理解し、練習してから言語活動へとつながるよう工夫されている。 (5) 英文を読むページには内容に関わる挿絵が、聞き取り活動では、場面を識別することができる写真が用いられている。 (6) 単元冒頭の目標や終末の振り返りから、生徒に学習到達目標の確認を促すよう工夫されている。
4　全体的な特色	・登場人物の中学生が、様々な経験を通して成長していくストーリーが描かれるよう構成されている。 ・既習の表現や語彙に繰り返し触れ、使いながら身に付けるような活動が配列されている。

種目（外国語）

発行者名 採択基準	啓林館（BLUE SKY）
1　教科の目標からの配慮	・各単元で、４技能５領域の育成を目指して段階を踏んで活用できる知識及び技能を習得するよう工夫されている。 ・各単元で、日常的・社会的な話題についての理解を深める題材配列がされ、最後に自らの考えを表現するよう構成されている。 ・多くの国々の話題や題材に関わる詳しい情報に触れながら、主体的なコミュニケーションを図れるよう配慮されている。
2　生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 （本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等）	(1)　１年生では小学校で学んだことと接続を図る単元が設定されている。また「読むこと」の力を高める単元を学年の後半に配列するなど、発達段階に応じ配慮されている。 (2) 題材について自分の考えを深め、単元終末において、自分の考えや気持ちを伝え合う言語活動を行うことができるよう構成されている。 (3) 単元終末に設定されている項目でも題材や内容について詳しく扱われることで、生徒が興味・関心をもって深い学びに導かれるよう配慮されている。 (4) 複数の単元を学習したあとに、聞いたことを基に話すなどの統合的言語活動を行い、既習表現を生かしながら自分の考えや思いを表現することができる特設単元が位置付けられている。 (5) 英文の理解や練習活動を助ける写真や挿し絵が配置され、新出表現の重要な項目が分かるよう字体や配色が工夫されている。
3　学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い （「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価）	(1) 文法事項に焦点をあてた項目で知識・技能を学んだ後に、英文を読んで理解を深め、単元の終末でテーマに沿って発信をすることで、表現力を高めるよう構成されている。 (2) さし絵などを参考に言語材料を理解したり練習したりして定着が促されるようになっており、特設単元において活用できるよう構成されている。 (3) モデル文を基に自分の考えや気持ちを表現する段階へ進むように、考えを整理し、まとまりのある文で表現するよう工夫されている。 (4) 文脈がある英文の新出表現から使用場面の理解を促し、目的・場面・状況などから相手意識をもって表現する活動に取り組めるよう配慮されている。 (5) 読むことの指導をする際、写真や表、さし絵が生徒の理解を促すよう工夫されている。 (6) 学習到達目標が掲載され、生徒が単元のはじめに具体的な目標をもって取り組めるよう配慮されている。
4　全体的な特色	・単元のはじめに、題材に関した問いなどが示され、見通しをもって学習できるよう配慮されている。 ・生徒にとって身近な題材や生徒が活用しやすい英文で新出言語に出合うように単元が構成されている。